

研究課題名：「高齢者への安心・安全な医療提供」に関する研究

1. 背景

八尾市立病院はがん診療、救急医療、小児周産期医療をはじめとする急性期医療を中心とした医療提供を行っています。急速に高齢化社会が進む我が国の情勢を反映し、当院でも高齢患者さんが年々増加傾向にあります。入院患者のうち 75 歳以上の方の割合は、2014 年度は 22.5%でしたが 2024 年度には 35.5%にまで増えています。

2. 目的

そこで当院では、高齢化社会における医療提供のあり方について検討することを目的として、高齢（嶺）者医療対応ワーキンググループを立ち上げ、各部署における高齢者医療の課題への取り組みを始めます。ワーキンググループの名称は「年寄り」を想起させる「高齢者」ではなく、「人生を積み重ねてこられた尊敬すべき人」との思いを込めて「高齢（嶺）者」としています。

3. 研究対象者：当院を受診される 75 歳以上の患者

4. 研究責任者：八尾市立病院副院長 箕輪秀樹

5. 研究の方法

当院の医局、看護局、薬剤科、臨床検査科、放射線技術科、機能訓練科、栄養管理科、地域医療連携室、医療事務の各部門における課題および対策を多職種により検討し、実施します。各部門における効果を検証し、病院の運営に反映させます。

6. 個人情報の取扱いについて

各部門で研究を実施する際には、個人を特定できる情報は削除したり関わりのない記述等に置き換えたりして、情報が誰のものか分からない状態にして使用します。ただし、必要な場合に個人を特定できるように、対象となる方とその方の情報を結び付けることができる対応表を作成いたしますが、この対応表は施錠できる場所で担当者によって厳重に管理されます。

7. 研究成果の公表について

本研究の成果は、学会発表および学術雑誌などで公表します。公表の際には個人が特定されないことがないよう十分配慮いたします。

8. 本研究に関する問い合わせ：八尾市立病院高齢（嶺）者医療対応ワーキンググループ